

ETHOS-HyperSightは「即時適応放射線治療」や、高画質のCBCT画像を6秒で撮影できるなどの優れた機能を有しており、アジアパシフィック圏での初めての導入となります(写真4)。これらの最新技術を駆使することにより、病変にはより強力に、周囲の正常な臓器にはより副作用が少ない、放射線治療が提供可能です。

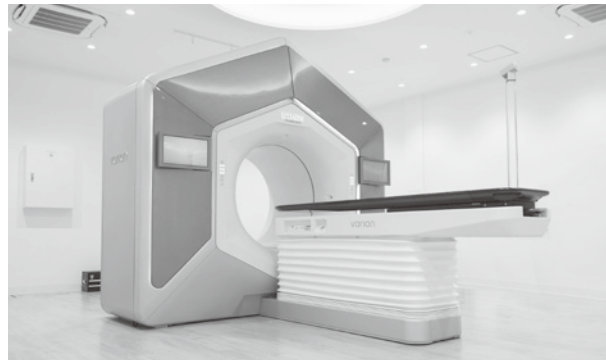


写真4

高精度放射線治療の対象となる疾患

高精度放射線治療の対象疾患についてお示しします(図1)。

強度変調放射線治療(IMRT)は、さまざまな方向から回転しながら治療を行う方法で、いわゆるピンポイントに病変のみに治療が可能です。これまで前立腺癌や頭頸部腫瘍、脳腫瘍に行われてきましたが、近年では進行期肺癌、食道癌、膵臓癌にも適応を広げて治療を行っています。IMRTでは分割して照射を行う方法が主流のため、20-35回(5-7週間)の治療期間となります。

一方で、5cm以下の小さな病変に対して、1回線量を大きく1週間以内の短期間で治療が終了となる定位放射線治療もピンポイント治療として発展してきています。これまで、I期肺癌や肝臓癌を中心に定位放射線治療は行われており、局所制御率は90%と良好な治療成績が報告されています。さらに、令和2年の保険適応の拡大に伴いオリゴ(小数個)転移や、5cm以下の脊椎転移性骨腫瘍にも定位放射線治療が実施可能となりました。例え転移があったとしても、病変の大きさや数が限られていればしっかりと治すことができる新たな治療法として、定位放射線治療は期待されています。

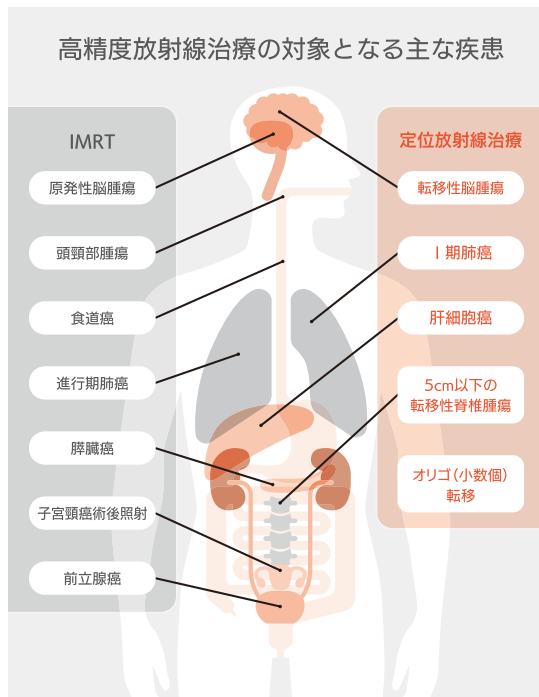


図1

最後になりますが、私たち放射線治療科は、安全を第一としながらも、より良い放射線治療を患者さんに提供できるよう、努力いたします(写真5)。患者さんには安心して放射線治療をお受けいただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



写真5

しもつけワイズ

問4

高齢者福祉サービスで、市が行っていないものは次のうちどれ？

① 配食サービス

② 携帯電話貸与

③ 安否確認・緊急通報システム貸与

■著者略歴 白井克幸

平成15年群馬大学医学部卒。群馬大学、群馬県立がんセンターにて放射線治療医として研さんを重ね、これまで高精度放射線治療であるIMRT・定位放射線治療や粒子線治療を先進的に従事してきた。オハイオ州立大学に留学、放射線生物学的研究にも貢献。令和2年より放射線治療科教授。

医療や健康に関する質問をお寄せください

医療や健康にまつわる疑問や悩みはありませんか？ メールやFAXでお寄せください。

■宛て先 総合政策課

☐ info@city.shimotsuke.lg.jp ☎ (32)8606